

住民ニーズの高い複数の事業を実施し、元気な街づくりを推進

## 嘉手納町商工会

機関名	嘉手納町商工会			
所在地	沖縄県嘉手納町字嘉手納 2 5 9			
電話番号	0 9 8 - 9 5 6 - 2 8 1 0			
地域概要	(1)管内人口	1.3 千人	(2)管内商店街数	2 商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数	2 商店街	(2)会員数	503 商店
	(3)空店舗率	11.7 %	(4)大型店空き店舗数	1 店
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. <u>近隣型商店街</u>			

### 【事業名と実施年度】

平成 15 年度	活性化対策事業	・ 空き店舗を利用したイベント ・ 商品券事業
	総事業費	4, 182 千円

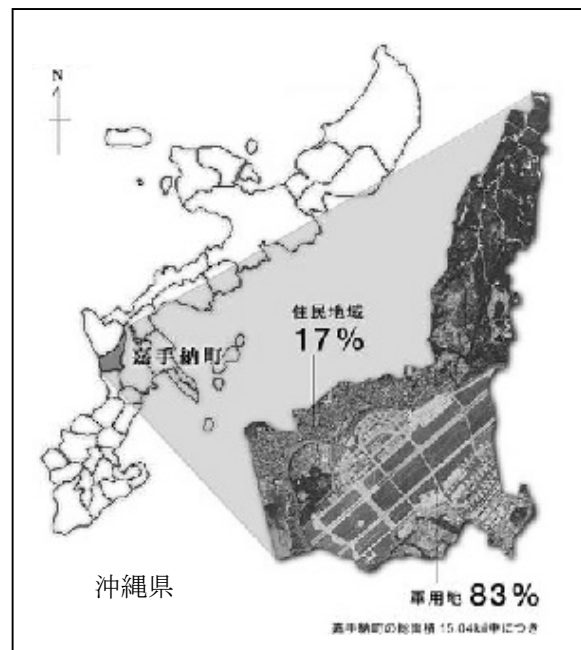
### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

嘉手納町は、沖縄本島の中部に位置し、那覇より北におよそ 23 k m の地点、人口 1 万 3, 700 名余りの町である。町は南北に細長い逆 L 字型をしており、総面積 15. 04 k m<sup>2</sup> のうち約 83% に相当する部分が米軍基地となっている。そのため、住民が居住する地域はわずかに 2. 58 k m<sup>2</sup> と生活環境をはじめ都市基盤の整備や産業の振興をすすめる上で大きな制約となっている。

町の産業は第 3 次産業が大半を占めているものの、近隣市町村における商店街の近代化や大型店舗の進出により競争が激化し、商業を取り巻く環境は厳しい状況にある。さらに、町内中心部における再開発事業及び国道線形変更等の嘉手納タウンセンター構想による商業環境の変化の影響を受け、商店街は衰退を余儀なくされている。

このような状況を打開するために、嘉手納町内にある商店街が共同で賑わいのある「元気な街づくり」を目指し、本事業に取り組むこととなった。



嘉手納町位置図（嘉手納町 HP より）

## 2. 事業内容

商店街の活性化を図るため、商業アンケートや空き店舗事業、商品券事業等7つの事業を実施した。実施に当っては専門家の指導のもと、事業を円滑に遂行するために商業関係者で委員会・作業部会を設置した。

- ・事業の対象 嘉手納町商業および地域住民
- ・実施期間 平成15年8月1日～平成16年3月31日

### (1) 商業アンケート事業

嘉手納町の消費者ニーズを探り、町内小売店舗の今後の経営を考える際の基礎資料とすることを目的に本事業を実施した。

- ・実施期間 平成15年10月20日～11月7日
- ・配布先 嘉手納町婦人会の協力を得て、任意に選出した町内世帯にアンケート票を420枚配布した。
- ・内容 年齢・性別、購買行動に関する質問のほか、個店・商店街・空き店舗に対する要望、ポイントカード・商品券等の利用状況を質問した。
- ・結果 388枚回収（回収率92.3%）し、集計及び分析結果を「地域生活者の町内商業に対するニーズ」という報告書をまとめた。

### (2) 先進地視察研修

ポイントカード事業・商品券事業を実施している先進3町の事例を視察研修することで嘉手納町での事業導入のヒントを得ることを目的に実施した。

- ・実施期間 平成15年10月29日～10月31日
- ・視察先 鹿児島県 加治木町ー商品券事業、ポイントカード事業  
吹上町ープレミアム付き商品券事業  
穎娃町ーポイントカード事業

### (3) 空き店舗活用事業

アンケート調査の結果、多くの住民が空き店舗対策を望んでいることがわかった。これを受けて新町通り内にある空き店舗を活用して下記の3イベントを行い、商店街活性化のきっかけ作りを行った。

内容	主催	開催時期
赤十字資金造成バザー	嘉手納町赤十字奉仕団	平成16年2月21日～23日
特産品試食会	嘉手納町商工会	平成16年2月25日
リサイクルバザー、手芸講習会	嘉手納町婦人連合会	平成16年2月27日～29日



赤十字資金造成バザーの様子



特産品試食会の様子

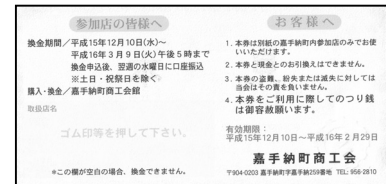
(4) 商品券事業

アンケート調査の結果、約4割の住民が商品券（プリペイドカードを含む）が欲しいと考えていることが確認できた。一方、嘉手納町商工会では平成14年度から商品券を発行していたが大きな成果を上げているとはいえない状況であった。そのため、商品券の認知度を高めることおよびプレミアム付きの商品券を発行することを重点課題と位置づけて本事業に取り組んだ。

- ・商品券名称 「わたしの町の商品券」
- ・実施期間 平成15年12月10日  
～平成16年2月29日
- ・商品券の種類 五百円券21枚つづりと千円券10枚+五百円券1枚つづりの2種。それぞれ5%プレミアムを付けて1万円で販売。
- ・商品券発行高 1千万円
- ・商品券売上実績 451万円（内訳 千円券：218万円 五百円券：233万円）
- ・参加事業所数 438事業所
- ・広報 参加事業所のチラシ、加盟店ポスター、のぼり等を作製し、店頭に掲示した。



商品券事業周知ポスター



(5) ポイントサービス事業の実施

消費者の反応を見極めることを第一目標として、実験事業との位置づけで本事業を実施した。ポイントカードの特性に対する各個店の理解を深めるとともに参加店舗の募集に重点をおいた。

- ・事業の名称 「かでなポイントサービス」
- ・実施期間 平成16年3月1日スタート
- ・しくみ 加盟店で500円買上げごとに1ポイントを進呈。20ポイントで100円の商品と交換。  
参加事業所は商工会でポイントサービスシールを100枚500円（1ポイント5円）で購入。
- ・参加事業所数 10店舗
- ・広報 チラシを配布するとともに、参加事業所の店頭ポスター掲示・のぼり設置。

(6) 個店訪問事業

嘉手納町婦人会の協力により、婦人会メンバー6名で編成された「激から調査隊」が対象店舗を訪れ、事前に決定したチェック項目に沿って3段階の評価を行った。また、調査後に調査隊と店舗経営者が懇談の場を持ち、意見交換を実施した。

- ・事業名 「激からツアー」
- ・実施期日 平成16年3月3日
- ・対象店舗 小売業6、飲食業1、製造小売業1



激から調査隊の調査の様子

(7) 「ちびっこサポーターズ」結成事業

町内に住む小学生を対象として、柔軟な発想で商店街の将来について意見を出してもらい組織を結成した。

- ・組織名 「嘉手納町ちびっこサポーターズ」
- ・会場 イベント広場
- ・実施期日 平成16年2月25日
- ・参加者数 町内の小学生60名余り
- ・内容 資料を用いて買物の仕組み、商工会・通り会の仕事、嘉手納町の再開発についての説明を行った後、参加者が商店街の未来の絵を描いた。



ちびっこサポーターズ結成式の様子

【 効 果 】

1. 来街者の行動

様々な事業の実施により、町民に対し商店街の存在を強くアピールするとともに来街を促すことができた。特に空き店舗活用事業では、他団体との連携やちびっこサポーターズの作品を展示し、これまで商店街に訪れなかった人たちの来街とともに購買に結びつけることができた。

2. 消費者ニーズへの対応

個別訪問事業で出された意見に対し、これを改善するために商店街が中心となり、ポップの作成や講習会の開催など、消費者ニーズにあわせた素早い対応を行うことができた。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

・事業費の確保

単発的に事業を行うのでは効果が期待できず、継続的に事業を実施することが必要である。そのための事業費を確保することが今後の課題である。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

ポイントサービス、商品券、空き店舗対策等の事業は、消費者ニーズが高く、今回の取り組みだけでなく今後も継続的に取り組み、消費者の支持を得ていくことが重要である。

嘉手納町商工会

**【 関 連 U R L 】**

嘉手納町商工会 <http://www.kadena.or.jp/>